

## 令和2年度 学校関係者評価報告書

令和2年度 学校関係者評価委員会

1.開催日時:令和3年3月8日(月)午後3時～午後4時30分

2.場 所:神戸理容美容専門学校 会議室

3.出席者:

◆評価委員

和性 雄一 (業界関係者)	HAIR MAKE WASHAW 代表取締役
三原 八須雄 (業界関係者)	みはら美容室 代表取締役
澁谷 和正 (業界関係者)	株HSC COLLAGEN 代表取締役
中村 敬子 (学識経験者)	本校元教頭

◆学校関係者

山田 廣美	本校校長
夏山 利香	本校教務主任
山崎 公子	本校事務主任

4.実施方法:自己評価報告書を基に、基準ごとに説明と取組みを報告し、評価していただいた。

令和2年度 自己評価の基準及び点検中項目

評価基準	点検中項目
基準1 教育理念・目標	a.学校の理念・目標・育成人材像は定められているか b.学校における職業教育の特色は何か c.社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来像を抱いているか d.学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか e.学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか
基準2 学校運営	a.理念等に沿った運営方針が策定されているか b.運営方針に沿った事業計画が策定されているか c.運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、または有効に機能しているか d.人事、給与に関する規定等は整備されているか e.教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか f.業界や地域社会に対するコンプライアンス体制が整備されているか g.教育活動等に関する情報公開が適切になされているか h.情報システム化等による業務の効率化が図られているか
基準3 教育活動	a.教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか b.教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか c.学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか d.キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか e.関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか f.授業評価の実施・評価体制はあるか g.職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか h.成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確化になっているか i.資格取得等に関する指導体制。カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか j.人材育成目標に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか k.関連分野における業界等との連携において優れた教員(兼務含む)を確保しているか l.関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上のための取組みが行われているか m.教員の能力開発のための研修等が行われているか 教員を確保しているか

基準4 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>a.就職率の向上が図られているか</li> <li>b.資格取得率の向上が図られているか</li> <li>c.退学率の低減が図られているか</li> <li>d.卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか</li> <li>e.卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか</li> </ul>
基準5 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>a.進路・就職に関する支援体制は整備されているか</li> <li>b.学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>c.学生に対する経済的な支援体制は整備されているか</li> <li>d.学生の健康管理を担う組織体制はあるか</li> <li>e.課外活動に対する支援体制は整備されているか</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>f.学生の学内生活環境への支援は行われているか</li> <li>g.保護者と適切に連携しているか</li> <li>h.卒業生への支援体制はあるか</li> <li>i.在校生への留学支援体制はあるか</li> </ul>
基準6 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>a.施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>b.学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</li> <li>c.防災に対する体制は整備されているか</li> </ul>
基準7 学生の受け入れと募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>a.学生募集活動は、適正に行われているか</li> <li>b.学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</li> <li>c.学納金は妥当なものとなっているか</li> <li>d.入学辞退者に対し、適正な対応をしているか</li> </ul>
基準8 財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>a.中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか</li> <li>b.予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</li> <li>c.財務について会計監査が適正に行われているか</li> <li>d.財務情報公開の体制整備は出来ているか</li> </ul>
基準9 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>a.法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</li> <li>b.個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか</li> <li>c.自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</li> <li>d.自己評価結果を公開しているか</li> </ul>
基準10 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>a.学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか</li> <li>b.学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</li> <li>c.地域に対する公開講座等を積極的に実施しているか</li> </ul>

## 評価結果

評価項目	評価	評価項目	評価
基準1:教育理念・目標	3	基準6:教育環境	4
基準2:学校運営	4	基準7:学生の受け入れ状況	4
基準3:教育活動	4	基準8:財務	4
基準4:学修成果	4	基準9:法令等の遵守	4
基準5:学生支援	4	基準10:社会貢献・地域貢献	4

※評価基準 適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1

### 基準1:教育理念・目標

- ・「心・技・体」明確な教育理念、目標を掲げることにより、より業界に求められる人材育成へと繋がると思う。
- ・理美容業に就く以前の社会人としての心構えの根幹をなす、よりよい教育理念を継承してもらいたい。

### 基準2:学校運営

- ・学生情報管理システムは、アクセスできる人員が限られていて、それぞれがパスワードを持ち管理体制がしっかりなされている。
- ・全般的に改善を検討しながら的確な学校運営がなされていると言える。

### 基準3:教育活動

- ・シラバスの組み立て方は、各担当教員が法定時間数の中で授業の進め方を決定している
- ・現在の教育内容は、理容美容学校のカリキュラムとしてとても充実した内容だと思う。
- ・最終到達点の国家試験合格率に関しても高く、信頼がおける。

### 基準4:学修成果

- ・卒業生、在校生の就職フォローはしっかりされている。
- ・退学率に関して、保護者との連携も必要で、今後もしっかりと取り組んでもらいたい。

### 基準5:学生支援

- ・学生に関する支援全般の体制は整えられていると思う。

### 基準6:教育環境

今後津波を想定した避難方法を考慮、避難訓練を実施した方がいいと思う。

### 基準7:学生の受け入れと募集

納入金が明瞭であり各種基準に則り、適正に行われている。  
 コロナ稼ではありますが来年度の入学生に大きな変化はないと報告があった。再来年は厳しい状況も懸念されるので、より一層募集に精進していただきたい。

### 基準8:財務

財務の基盤は学生の確保であり、それも出来ており、健全な運営だと思う。

### 基準9:法令等の遵守

法令順守をきっちりとなされている。

基準10:社会貢献・地域貢献  
実施されているので問題ない。

その他

今後の新しい取り組みとして

- ・学生を他で開催される大会の出場を増やし、自己研鑽を積む機会を与える。
- ・地域と連携し、技術披露の場を与えて学生に自信や度胸をつけさせるのもいいと思う。